

2021年6月17日

各 位

不動産投資信託証券発行者名

産業ファンド投資法人 (コード番号 3249)

代表者名 執行役員 本多 邦美

URL : <https://www.iif-reit.com/>

資産運用会社名

三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社

代表者名 代表取締役社長 岡本 勝治

問合せ先 執行役員インダストリアル本部長 上田 英彦

TEL : 03-5293-7091

2050年カーボンニュートラルに向けた新たなCO₂排出量削減目標の設定に関するお知らせ

産業ファンド投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、資産の運用を委託する資産運用会社である三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社（以下「本資産運用会社」といいます。）とともに設定するESGマテリアリティにおいて、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた新たなCO₂排出量削減目標を設定したことを、下記の通りお知らせします。

記

1. これまでの気候変動に関する取組み

本投資法人は、本資産運用会社が掲げるサステナビリティ・ビジョン「投資運用を通じて投資主価値の向上を目指し、世界的課題の解決に貢献する」に基づき、持続可能な社会の実現を目指し、ESG（環境・社会・ガバナンス）への取組みを積極的に行ってきました。

特に、気候変動への対応は重要な社会課題であると考え、本資産運用会社は、モントリオール・カーボン・プレッジ、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）へ署名、気候変動イニシアティブへ賛同するとともに、本投資法人はこれまでの本資産運用会社のESGの取組みに賛同し、保有物件に対する環境・省エネルギー対策やエネルギー利用の効率化を積極的に行ってきました。

2. 新たなCO₂排出量削減目標設定の背景

本投資法人は、唯一の産業用不動産特化型J-REITとして、「日本経済の力を生み出す源泉である社会基盤に投資し、日本の産業活動を不動産面から支えていく」という運用理念を掲げ、収益の安定的な確保と運用資産の着実な成長を図ってきました。

今般、脱炭素社会の実現に向け、世界各国における気候変動対策への取組みが加速する中、本投資法人としてその実現を目指すことは、保有資産のみならず、中長期的な日本の産業活動の発展に寄与し、ひいては投資主価値の向上に資するものと認識し、この度、新たなCO₂排出量削減目標を設定しました。

今後も様々なサステナビリティ課題に対し、優先度の明確化、可視化を行った上で、ステークホルダーの皆さまと対話を進めながら取り組んでいきます。

3. 新たなCO₂排出量削減目標及びその施策

① 新たなCO₂排出量削減目標

- ・ 2030年までにCO₂排出量を2015年対比で50%削減（原単位ベース^(注)）
- ・ 2050年までにカーボンニュートラルを目指す

【これまでの目標（ご参考）】

- ・ 2030年までにCO₂排出量を2015年対比で30%削減（原単位ベース）

(注) 原単位とは、延床面積（稼働状況考慮後）を以て算出しています。

② 新たなCO₂排出量削減目標に向けた主な施策

- ・ 最新の省エネ型空調設備やLED照明の導入による電力エネルギー消費量の削減
- ・ 直接管理物件における再生可能エネルギー由来の電力調達への切換え 等

■この取組みを通しSDGs目標の達成に貢献します。



■サステナビリティに関する取組みの詳細についてはホームページでご確認ください。

産業ファンド投資法人

https://iif-reit_sustainability.disclosure.site/ja/

三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社

https://mc-ubs_sustainability.disclosure.site/ja/

以 上